

市では毎年、前年度の決算を公表しています。また、上期、下期の財政事情の公表を6月と12月に行っており、今回あわせてお知らせします。皆さんの税金や国、県からくるお金がどのように使われているか、下田市の家計簿とよめるものです。

下田市の家計簿はどうなっているの？

人口と世帯数	人	□	26,621人 (男 12,825人) (女 13,796人)
	世帯	帯	11,560世帯
財産	土地	地	3,887,386㎡
	建物	物	89,055㎡
	有価証券	券	200万円
	出資による権利	金	7億4,995万円
	基金	金	5億9,143万円

【平成18年3月31日現在】

市税負担の状況

1人当たり 2万7,906円
1世帯当たり 6万4,262円

個人市民税

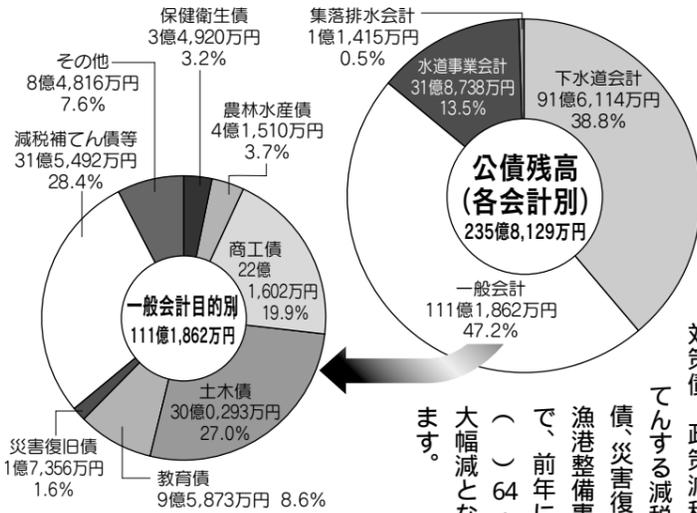
1人当たり 5万9,456円
1世帯当たり 13万6,918円

固定資産税

市税全体では

1人当たり 11万8,400円
1世帯当たり 27万2,658円

市債の状況

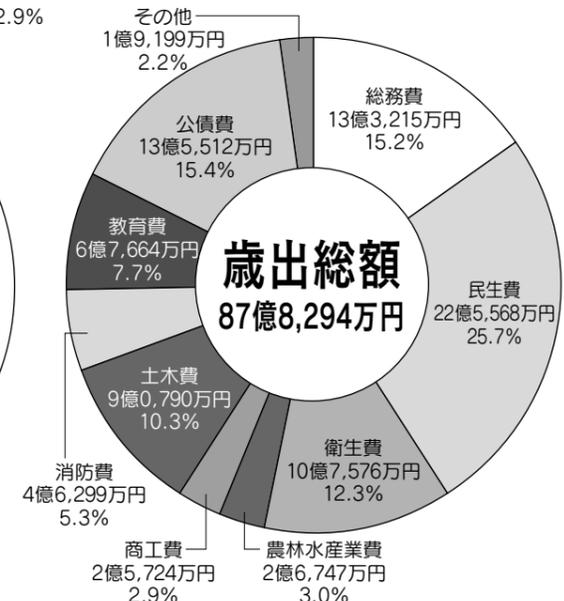
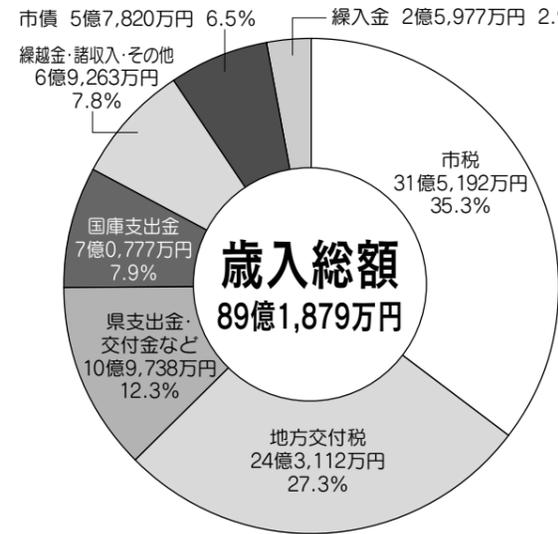


市債全体 1人当たり 88万5,815円
では 1世帯当たり 203万9,904円

平成17年度の市債借入額は、5億7,820万円で歳入に占める割合は、6・5%となります。この借り入れの主な内容は、交付税制度改正に伴う臨時財政対策債、政策減税分を補てんする減税補てん債、災害復旧事業、漁港整備事業などで、前年に比べて（）64・5%と大幅減となっております。

平成17年度の市債借入額は、5億7,820万円で歳入に占める割合は、6・5%となります。この借り入れの主な内容は、交付税制度改正に伴う臨時財政対策債、政策減税分を補てんする減税補てん債、災害復旧事業、漁港整備事業などで、前年に比べて（）64・5%と大幅減となっております。

一般会計



特別会計及び事業会計

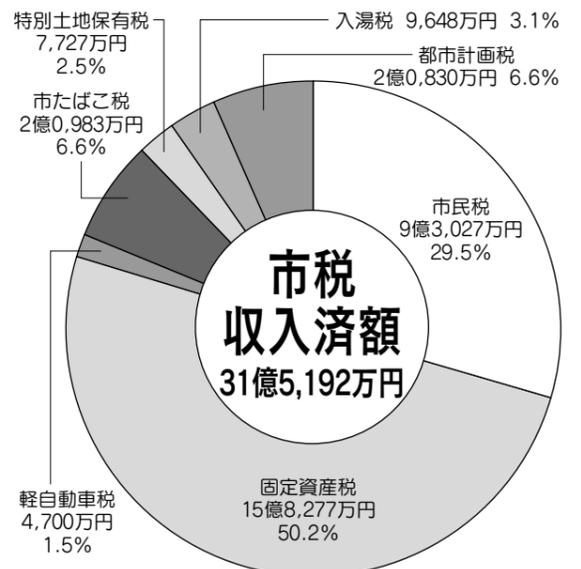
特別会計名	予算額	収入済額	支出済額
稲梓財産区特別会計	203万円	202万円	130万円
下田駅前広場整備事業特別会計	1,262万円	1,261万円	996万円
公共用地取得特別会計	1,541万円	1,540万円	1,540万円
国民健康保険事業特別会計	32億9,634万円	33億0,052万円	32億0,384万円
老人保健特別会計	30億3,907万円	30億0,655万円	29億8,752万円
介護保険特別会計	16億3,263万円	16億0,867万円	15億6,056万円
集落排水事業特別会計	1,833万円	1,829万円	1,688万円
下水道事業特別会計	13億4,955万円	13億4,714万円	13億3,945万円

【水道事業会計】

収益的収支				資本的収支			
項目	収入済額	項目	支出済額	項目	収入済額	項目	支出済額
収入合計	6億8,186万円	支出合計	6億5,387万円	収入合計	3億1,382万円	支出合計	5億7,194万円
営業収益	6億7,891万円	営業費用	5億0,167万円	企業債	2億6,100万円	建設改良費	4億2,154万円
営業外収益	245万円	営業外費用	1億4,705万円	出資金	2,900万円	企業債償還金	1億5,040万円
特別利益	50万円	特別損失	515万円	負担金・その他	2,382万円	その他	

純利益：以上より、平成17年度下田市水道事業会計は、2,799万円の黒字となっております。
支出に収入が不足する2億5,812万円は、当年度損益勘定留保資金2億1,657万円、減債積立金2,261万円、その他1,894万円で補てんしました。

市税収入の内訳



平成17年度においては、みなど橋架替事業等の終了に伴い、歳出決算が約88億円と小規模な決算となりました。環境整備として、漁港（須崎・白浜）漁場整備、災害対策緊急海岸整備（外浦漁港）を推進し、防災対策では算作地区コミュニティ消防センター整備を進めるとともに、教育面では、朝日小学校屋上防水改修、下田東中学校トイレ改修、吉佐美運動公園整備を実施し、小学生への防犯プ

ザイ配付や小学校教育用パソコンの購入などを行いました。新たに、開港150周年事業で培ったまちづくりのノウハウを活かし、「日露修好150周年記念推進事業」を官民一体で展開、「ねりんピック静岡2006ブレイイベント実施」、「伊豆縦貫道建設促進」、「高齢者保健福祉・介護保険事業計画策定」や健康対策として増え続ける糖尿病予備軍抑制を重点とした検診項目の拡充などにも取り組みました。